

EYES CURE

DRY CUT & EYE PROTECTION

取扱い説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に、正しくご使用していただくためにも、この取扱い説明書をよく
お読みください。なお、この取扱い説明書は大切に保管し、必要に応
じてご覧ください。

警告

- 本製品は、太陽光や溶接光など強い光を直視する機能、あるいは外的衝撃などから目を保護する機能を有するものではありません。
- ご使用前に必ず点検し、以上がないかご確認ください。亀裂・破損などがある場合は使用しないでください。怪我や事故につながる可能性があります。
- ご使用中にアレルギー症状が発生した場合は、直ちに使用を中止して医師にご相談ください。

▲ 注意

曇り止め加工レンズの取り扱いについて

市販のレンズクリーナーや曇り止め、洗剤・溶剤などの薬品は使用しないでください。

※防曇効果の低下および、変質・変形の原因になります。

- フレームは必ず両手で掛け外しをしてください。片手で乱暴に扱うと破損の原因となることがあります。
- 車のダッシュボードや暖房器具のそばなど、高温になる場所に置かないでください。
※変質・変形の原因になります。
- レンズが濡れた状態のまま、擦るように拭くと、傷の原因になるのでおやめください。
- レンズは指紋などで汚さないためにも直接触れないでください。レンズを拭くときは、レンズクロス(めがね拭き)などの清潔で柔らかい布で拭いてください。
- ティッシュや洋服の端など、繊維の目が粗いものでレンズを拭くことは、傷の原因になるのでおやめください。
- 保管時や輸送中に固いものがレンズに触れないよう、専用ケースに入れるなどしてレンズに傷がつかないようにしてください。
- サイドガード・ノーズパット・保水シートを取り外すときは、ゆっくりと行ってください。
※乱暴に引き抜くと破損の原因になります。
- 保水シートへの注水は、常温の水道水をご使用ください。
※塩素が含まれていないミネラルウォーターのご使用は、雑菌の繁殖やカビの原因に繋がります。
- 乾燥の程度に合わせて、注水を行ってください。(保湿度は体温や環境などにより異なります。)
- ご使用后、注水器の水は容器内に残さず捨ててください。
- 保水シートが汚れたり・破れているときは新しいシートと交換してください。
- サイドガードをつけた状態での着用は、左右の視野が狭くなるため自動車や自転車などの運転はしないでください。
- 目を覆う構造のため、マスクとの併用はレンズが曇りやすくなります。レンズが曇った状態での危険な作業はお控えください。
- 水分を含んだ保水シートを、フレームと一緒にケースに入れしないでください。
※雑菌の繁殖やカビの原因に繋がります。

ECMR311

株式会社 アックス AXE CO.,LTD

〒546-0012 大阪市東住吉区中野1-14-7 Tel.06-6702-7521(代) E-mail: info@axe.co.jp

EYES CURE

DRY CUT & EYE PROTECTION



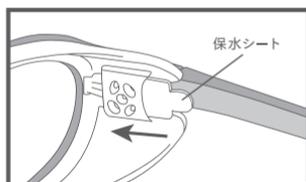
アイキュアは、新開発によるマルチアイプロテクション機能 (PAT)により目的に合わせてパーツをセットすることであなたの目を守ります。

実用新案登録第3221925号(日本)
ZL201921310339.6(中国)

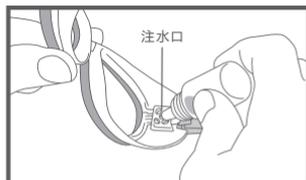
目の乾燥の予防や緩和に 保水シート装着方法

サイドの保水ポケットに保水シートを装着し、水を注水することで、フレーム内の湿度を維持し目の乾燥を予防・緩和します。

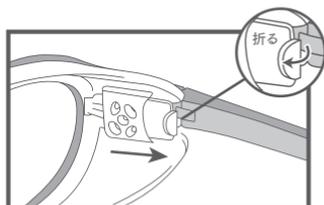
保水ポケットの内側に沿って、
保水シートをセットします。



保水ポケットのまん中の穴に
注水器を押しつけ、あふれない
程度に少しずつ注水してください。



保水シートを交換する際は
シートのツメを折り、ゆっくり
と引き出します。



DUST CUT (ホコリ・花粉などを防止)

- ① クッションサイドガードをフレームに取り付けます。
- ② ラバーテンプルを調整し、できるだけ顔に当たるように装着してください。風やホコリ・花粉などの侵入を防止・軽減します。

OPTICAL (メガネとして)

クッションサイドガードをはずして付属のノーズパッドをフレームの鼻部分の突起に差し込んでください。

※度付きレンズの装着は、眼鏡店・専門店での対応となります。

